

法政大学データサイエンスセンター主催
全キャンパス学部生向けセミナー

データ起点でサービスを創出する

～ビジネスを紐解くためのデータサイエンスへの向き合い方～

昨今、デジタル変革（DX）の推進は、IT企業だけに限らずあらゆる企業が取り組むべき課題となっています。それに伴い、データサイエンスやAI、ビッグデータなどを活用し、商品やサービスはもちろんのこと、業務や組織の変革をリードできるデジタル人材が求められています。一方、データサイエンスによってビジネス課題を紐解き解決するためには、分析や解析だけでなく、企画力やコミュニケーション力も重要です。

講師は本学文学部地理学科卒業生であり、現在はインターネット地図など情報サービスを手掛ける企業に所属する鹿野健人氏です。在学中は膨大なデータである地理空間情報を扱う機会が多かったことから、その経験をもとに、世の中にある様々なデータを活用し新しいサービスを生み出した事例を紹介します。文系・理系問わず、大学時代にデータサイエンスの素養を身につけることで、実社会にどのように活用できるのかを講演頂きます。

数理・データサイエンス・AI分野の学びについて、専門分野を問わず、理解を深められる内容ですので、MDAPを履修した方、MDAPをこれから履修したいと考えている方だけでなく、数理・データサイエンス・AIにご興味・ご関心をお持ちの方は、是非ご参加ください。また、後半はMDAPの紹介をはじめ、履修ガイダンスも行います。

4月5日（金）
16:00～18:00

※新入生の申込みも大歓迎です。

入学手続きの都合上、法政大学から付与されるメールアドレスではなく、普段お使いの個人メールアドレスからお申込み頂けます。

ハイフレックス開催

市ヶ谷キャンパス富士見ゲート2階 G201教室
オンライン（Zoom）

お申し込みはこちら
4月4日〆切



※定員になり次第締め切らせて
いただく場合がございます。

[＜申込フォームはこちら＞](#)



株式会社ONE COMPATH
買いものエンゲージメント本部
マーケティング部 事業戦略G
鹿野 健人 氏

講師の鹿野氏は、2023年6・7月号
広報誌「HOSEI」の「卒業生インタ
ビュー」でも取り上げられています。

詳細は[こちら](#)からご覧いただけます。

◆講師 プロフィール

2015年 法政大学文学部地理学科入学。学部では地形学と都市地理学を扱うゼミに所属。在学中からGIS(地理情報システム)を活用するとともに、国勢調査や数値標高データなどのデータを扱う。卒業後、2019年よりインターネット地図検索サービス「Mapion」を運営する株式会社ONE COMPATHへ入社。研修期間中に社内のデータと社会課題を組み合わせ、「えきのなまえマップ」を考案。社内で評価されアプリ内の機能として一般公開。メディアを通して大きな反響を得た。2020年より主に法人向け地図ソリューションサービスの企画に携わり、新サービスのマーケティング調査からリリースに至るまで幅広い業務に携わっている。

法政大学データサイエンスセンター <https://www.dsc.hosei.ac.jp/>

お問い合わせ：法政大学総長室付教学企画 kyogaku@hosei.ac.jp

